

# 土壌の有害センチュウ検査

〈対象作物〉

野菜類、花き類、果樹類

## ネコブセンチュウ類

症状 根にコブを形成し、養分吸収を妨げ、生育を阻害する。根菜類では、根部に奇形を引き起こす。

## ネグサレセンチュウ類

症状 根に侵入して加害し、腐敗させ、生育を阻害する。根菜類では、根部に水疱状の斑点や尻詰まりなどを引き起こす。

両センチュウとも、収量減少・品質低下・病害併発を招きます。

### このような場合におすすめです！

- ・作付前に、土壌に有害センチュウがいるかどうか調べたい
- ・生育不良の原因が、有害センチュウによるものか調べたい



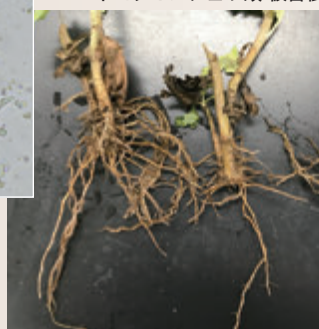
ネコブセンチュウ類



ネコブセンチュウ類 被害根



ネグサレセンチュウ類



ネグサレセンチュウ類 被害根

## 土壌の採取及び送付方法

### 常温便

#### ＜土壌の採取＞

- ・地表近くの土壌は避けて、深さ10～15cmを目安に、作物の根圏土壌を採取する。
- ・圃場全体を調べる場合は、5～10か所から採取した土壌を均等になるように良く混ぜ、石はなるべく入れずに200g程度を送付する。
- ・灌水後や雨後の採取は避けて下さい。土壌を軽く握ってひらいた時、土の塊が割れる程度の水分量が適しています。
- ・検体が複数ある場合は、袋に採土場所(例：ハウス番号 等)等を記入する。
- ・採土後は、直射日光や高温を避け、直ちに送付してください。
- ・土壌消毒を行った場合は、薬剤名のご提供もお願いします。

#### ＜送付方法＞

- ・土はチャック付きのポリ袋等に入れて、密封してください。
- ・常温便でご送付ください(クール便は不要)。
- ・夏季高温期は、郵送中の高温でセンチュウ類が死滅する可能性があります。予めご了承ください。



## 検査の方法

#### 【ベルマン法】

供試土壌 20g 中のセンチュウ類をベルマン法にて分離し、ネコブセンチュウ類及びネグサレセンチュウ類の個体数を、顕微鏡下で計数します(2反復)。

## 注意事項

土壌からの分離効率は、ベルマン法の場合、良好な条件下でも50%前後と言われています。低密度の場合、ベルマン法では検出しない可能性もあります。種の判定はできません。

## 報告書

- ・土壌中における有害センチュウの有無を検査したうえで、最適な対応策をご提案します。
- ・検体の受領から結果のご報告まで、7～10日程度かかります。

病害虫調査 参考所見	
調査項目	結果
1. 土壌中の有害センチュウの有無	ネコブセンチュウ類: 検出 ネグサレセンチュウ類: 検出
2. 土壌中の有害センチュウの個体数	ネコブセンチュウ類: 100個/g ネグサレセンチュウ類: 50個/g
3. 土壌中の有害センチュウの種類	ネコブセンチュウ類: 根結病 ネグサレセンチュウ類: 根腐病
4. 土壌中の有害センチュウの発生時期	ネコブセンチュウ類: 発生時期不明 ネグサレセンチュウ類: 発生時期不明
5. 土壌中の有害センチュウの発生場所	ネコブセンチュウ類: 発生場所不明 ネグサレセンチュウ類: 発生場所不明

